

2016年度事業報告（2016年4月1日～2017年3月31日）

○2016年の日本経済は、アベノミクス効果はさほど恩恵がなくむしろ ①マイナス金利政策（2/16より）がスタート、これにより金融機関は収益源を奪われ、②個人消費低迷により小売業販売額が減少、③円相場での円高基調（8月には1ドル101円まで円上昇）が続き企業収益を圧迫した、等で経済状況の低迷（特に九州）が続いた。この状況にあつて福岡デザイン専門学校は創立20周年の慶事を迎え、その記念事業は、2016年度重要施策「中期基本方針」にも記述されている「優れた教育力基盤向上をさらに目指し、学校全体の『価値』を高める諸活動を推進してゆく。」ためのまさに中核事業であつた。

○2016年度は3年制（1, 2, 3年）が全て揃うことになつた年度である。昨年度（2015年度）では、3年制の価値、高校の先生方の理解も増えて、入学者を確保できた。

ところが、当年度の学生募集では上記、日本経済の低迷状況（特に九州）により募集戦略に大きな影響を受けることになつた。9月までは20周年事業の効果もあり、学校説明会への来校者も順調、入学意向率80%以上の学生は昨年より大幅に伸びていた。しかしながら、10月願書受付からは願書数は昨年より下回り、この傾向は年度末まで続き最終的に入学者は残念ながら昨年を若干下回る結果となつた。

要因としては種々考えられるが総括すると①経済的問題への対応、②早期での学生確保に集約され、次年度での重要な課題として検討が必要となつた。

年度下期には次年度での早期学生確保の対策として、当校もAO入試導入を決定した。導入決定後は次年度4月より実施出来るよう募集要項作成に取り掛かつた。

○また、文科省が専門学校に推奨している「職業実践専門課程」を当校「総合デザイン科」で昨年度申請し、2016年2月29日付けで同課程の認定を受けた。当年度4月以降のカリキュラムにも同課程を反映させ、企業との連携の下にさらに職業教育の質向上を図つてきた。

○さらに当校には人事制度に関する種々規程はあるものの、人事評価規程は未だ規定されていなかった。

2008年度に策定された「FDS3ヵ年計画」において、今後人事評価についてはその是非を検討するとしている。人事評価は人材育成、組織の活性化、業績向上のためには避けて通れない事項である。当年度充分なる検討のうえ当校としての人事評価制度運用を導入した。

○当校の重要な教育資産である「未来デザインステージ」は2008年よりスタートして、当年度で9年間継続開催してきた。2017年には10年目を迎えることになり、同イベントをさらに学生の教育のため、ステージアップさせることとし、名称・展開内容を一新させる準備検討に着手した。新たな名称は「未来デザインネクスト」となり年1回の開催とした。

全体アドバイザーを前日経デザイン編集長 下川 一哉氏、第1回講演者を太刀川 瑛弼氏開催日2017年6月23日と決定した。同イベントは「未来デザインネクスト実行委員会」主催とし、当校と当校同窓会の共催となる。


以上2016年度は、依然厳しい経済状況下ではあつたが「福岡デザイン専門学校創立20周年記念事業」展開を中心として、学生募集活動他新企画を実施、かつ将来への重要な布石となる施策にも着手することが出来た。


監 査 報 告 書

学校法人双葉学園
理事長 香坂 雅弘 殿

私たち監事は、2016年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日まで）の
資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表並びに財産目録等を精査した結果、
正確且つ妥当に処理されていた事を認めます。

2017年5月12日

監事 荒木正文 

監事 田名部徹朗 

貸借対照表

平成29年3月31日

学校法人双葉学園

(単位円) (単位:円)

資産の部

科目	本年度末
固定資産	361,456,318
有形固定資産	320,530,352
その他の固定資産	40,925,966
流動資産	70,886,908
資産の部合計	432,343,226

負債の部

科目	本年度末
固定負債	68,122,000
流動負債	155,507,987
負債の部合計	223,629,987

基本金の部

科目	本年度末
第1号 基本金	248,405,481
第4号 基本金	10,586,000
基本金の部合計	258,991,481

消費収支差額の部

科目	本年度末
消費収支差額の部合計	△ 50,278,242
負債の部、基本金の部、消費収支差額の部	432,343,226

事業活動収支計算書

平成28年4月 1日から
平成29年3月31日まで

学校法人 双葉学園

区分	科目	決算	
教育活動収支	収事入業の活動部動	学生納付金等	172,135,015
		教育活動収入計	172,135,015
	支事出業の活動部動	人件費等	173,575,878
		教育活動支出計	173,575,878
	教育活動収支差額	△ 1,440,863	
教育活動外収支	収事入業の活動部動	受取利息・配当金等	80,067
		教育活動外収入計	80,067
	支事出業の活動部動	借入金等利息等	2,363,627
		教育活動外支出計	2,363,627
	教育活動外収支差額	△ 2,283,560	
経常収支差額		△ 3,724,423	
特別収支	収事入業の活動部動	資産売却差額等	0
		特別収入計	0
	支事出業の活動部動	資産処分差額等	50,110
		特別支出計	50,110
	特別収支差額	△ 50,110	
基本金組入前当年度収支差額		△ 3,774,533	
基本金組入額合計		△ 3,939,920	
当年度収支差額		△ 7,714,453	
前年度繰越収支差額		△ 50,509,170	
基本金取崩額		△ 7,945,381	
翌年度繰越収支差額		△ 50,278,242	